

国道54号祇園新道において被爆樹木の健全度調査を実施します。

1. 取組みの概要

国道54号祇園新道には、広島を象徴する重要な樹木である被爆樹木(クスノキ)があります。

被爆クスノキは、昨年度実施した健全度調査の結果、12本全てが生育不良となっていたため、昨年度8月に樹木医の先生にご指導いただきながら樹木の生育を妨げる要因ともなる不要枝(胴吹き、ヒコバエ、枯れ枝等)の剪定及び樹勢が弱っている樹木に施肥を実施しています。

この度、昨年度のフォローアップとして、「樹勢は順調に回復しているか」などの健全度調査を実施することとしましたのでお知らせします。

また、広島県樹木医会の先生2名を講師に迎え、今後の被爆樹木や樹木管理に関する講義を行って頂くと共に、今回の調査結果を踏まえた対応方針について関係者による意見交換を行ない、必要な追加手当(枯れ枝の除去、刈り込み等)を実施していく予定としています。

2. 実施内容

(1) 実施日時

現地調査 : 平成19年7月10日(火) 13:30~14:30

意見交換会 : 平成19年7月10日(火) 15:00~16:30

(2) 実施場所

現地調査 : 国道54号祇園新道 広島市中区白島北町(郵便貯金ホール東側)
小雨決行

意見交換会 : 広島国道事務所 5F大会議室

(3) 出席者(13名程度)

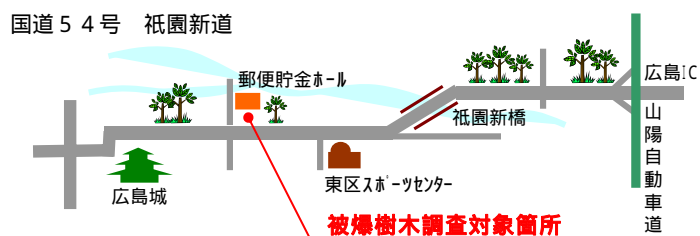
広島県樹木医会会長 溝口 幸平太

広島県樹木医会副会長 堀口 力

広島市企画総務局国際平和推進部

広島国道事務所(事務所及び出張所)

植樹管理業者 みずえ緑地(株)



プレートは被爆樹木12本の内2本に設置されています。